

令和8年
8月号

協会けんぽ News えひめ



事業所の健診ご担当者様へ

健康
診断で

要治療 要精密検査

と判定された
従業員の方へ

医療機関への受診の働きかけをお願いします

自己判断での放置はキケン!

高血圧

を放置すると...

脳梗塞

脳出血

狭心症

心筋梗塞

高血糖

を放置すると...

糖尿病網膜症

糖尿病神経障害

失明の可能性

足の切断の
可能性

深刻な病気になる前に早期の受診を!!

従業員の方が受診しやすいよう、職場環境の整備を心掛けましょう!

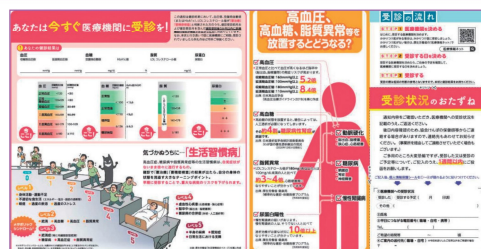
事業所における取組事例

- ◆ 二次検査費用を会社が一部負担
- ◆ 再検査通院には特別休暇を使用可

事業所における
健康づくりの
取組事例はこちら▶



概ね健診受診の半年後に、健診結果(血圧、血糖、脂質、胸部エックス線)で「要治療」「要精密検査」等と判定され、医療機関の受診が確認できない方へ受診勧奨通知をご自宅へ送付します。



通知サンプル▶

重症化予防について
くわしくはこちら▶



健診のアフターフォローに関する業務の外部委託について

健診ご担当者様へ、右記の委託業者より対象者の方あてにお電話させていただくことがあります。対象者の方への電話の取次ぎ等、ご理解・ご協力をお願いします。

委託業者名 株式会社エス・エム・エス

所在地 東京都港区芝公園 2-11-1 住友不動産芝公園タワー 8階

連絡先 0120-958-025(平日9:00~17:00)

協会けんぽ 2025(令和7)年度決算(見込み)のお知らせ

2025年度の決算(見込み)の概要

2025年度の決算は収入が12兆3,406億円、支出が11兆6,611億円、収支差は前年度から209億円増加し、6,795億円となりました。

保険料収入は、賃上げや被保険者数の増加により前年度比 4,057 億円の増加となりました。保険給付費は加入者 1 人当たり保険給付費が増加した影響で前年度比 2,818 億円の増加となっています。また、拠出金等は後期高齢者支援金が増加した影響で前年度比 1,634 億円の増加となりました。

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

2025年度決算(見込み) | 医療分(単位:億円)

収入	保険料収入	110,546 (+4,057)
	国庫補助等	12,383 (+693)
	その他	477 (+132)
	計	123,406 (+4,881)
支出	保険給付費	75,369 (+2,818)
	拠出金等	37,829 (+1,634)
	その他	3,413 (+220)
	計	116,611 (+4,672)

単年度収支差 6,795 (+209)

※ ()内は、前年度比

※ 支出の「その他」は下図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

保険給付費 64.6%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

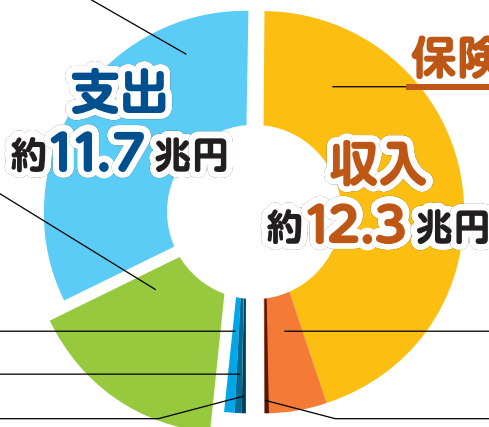
高齢者医療への拠出金等 32.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

健診・保健指導経費 1.5%

協会事務費 1.0%

その他の支出 0.5%



保険料収入 89.6%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

国からの補助金 10.0%

その他の収入 0.4%

2025年度の決算は黒字でしたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

① 協会けんぽの財政は、当面、賃上げ等により保険料の増加が見込まれるものの、

- ・現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しいこと
 - ・協会けんぽ加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれること
 - ・団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより後期高齢者支援金の中長期的に高い負担額のまま推移することが見込まれること
- 等に留意が必要と考えています。

また、医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026(令和8)年度診療報酬改定において、診療報酬(本体部分)の改定率が3.09%(2026年度: +2.41%、2027年度: +3.77%)と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映されることなどから、今後の動向を注視する必要があると考えています。

※ 2026年度は平均保険料率を10.0%から9.9%に引き下げたほか、国から交付される国庫補助が2026年度から3年間減額されることとなっています。